

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 環境経営方針	P.3
4. 環境経営目標	P.4
5. 環境経営計画(環境経営計画に基づき実施した取り組み内容)	P.5
6. 環境活動実施体制	P.6
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	P.7
8. 次期の環境経営目標	P.8
9. 次期の環境経営計画	P.9
10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P.10
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P.11

2024年4月1日発行・6月13日改訂

COPTO 株式会社 コプト

1. 組織の概要

(1)事業者名 株式会社 コプト

(2)代表者氏名 中村 竜也

(3)環境管理の責任者・担当者及び連絡先

環境管理責任者 宮田輝章

担当者 宮田輝章

連絡先 〒252-0232 神奈川県相模原市中央区矢部1-23-17-201

Tel 042-756-0339

Fax 042-759-0285

E-mail copto@terra.dti.ne.jp

(4)所在地

事業所名 本社

所在地 〒252-0232 神奈川県相模原市中央区矢部1-23-17-201

(5)事業内容

鉄道用電子測定機器および産業用電子機器の開発・設計・製造・販売

(6)事業の規模

売上高 100,55万円（2023年4月～2024年3月）

従業員数 6名

敷地面積 102 m²

2. 対象範囲(全組織・全活動)

(1)認証・登録対象組織

本社

(2)認証・登録対象活動

鉄道用電子測定機器および産業用電子機器の開発・設計・製造・販売

3. 環境経営方針

環境経営方針

【企業理念】

確かな開発力で信頼性の高い製品を提供し、最大限の顧客満足を実現する。

【環境経営方針】

当社は鉄道用及び産業用電子機器・測定機器の開発・製造・販売を主とする事業活動を行う中で、環境への配慮と環境汚染の予防に努めます。
以下に示す環境経営方針に従い、継続的に環境保全に取り組めます。

【行動指針】

1. 環境負荷の低減を図るため、以下の活動に取り組めます。

(1)二酸化炭素 排出量の削減

- ① 社内インフラ(生産設備、照明設備等)の省エネ化により、電気使用量の削減に努めます。
- ② 営業車のエコドライブ徹底により燃料使用量の削減に努めます。

(2)廃棄物 排出量の削減

- ① 事業所から発生する一般廃棄物の削減に努めます。
- ② 資源の有効利用とリサイクルを推進します。

(3)水 使用量の削減

- ① 事業所内の水使用量の削減に努めます。

(4)自社の開発・製造・販売する製品について

- ① 環境保全に配慮した製品の製造及び資材の購入に努めます。

2. 事業活動において環境関連法規等を遵守します。

3. 全ての従業員が環境経営に積極的かつ継続的に改善に取り組めます。

4. この環境方針を全ての従業員に周知します。

2021年9月24日
株式会社 コプト
代表取締役 中村 竜也

4. 環境経営目標

環境経営目標

承認	作成
2023/4/2	2023/4/1
中村	宮田

環境経営目標	基準	年度目標	中期目標			
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	総量 7,474.80 kg-CO2	2%削減 7325.3 kg-CO2	3%削減 7250.6 kg-CO2	4%削減 7176.0 kg-CO2	5%削減 7101.0 kg-CO2	6%削減 7026.4 kg-CO2
1.-1 電力使用量の削減 二酸化炭素排出係数: 0.452kg-CO2/kWh	7.337KWh 3722.7kg-CO2	2%削減 7190.0 kWh 3249.9 kg-CO2	3%削減 7117.0 kWh 3216.9 kg-CO2	4%削減 7044.0 kWh 3183.9 kg-CO2	5%削減 6970.0 kWh 3150.4 kg-CO2	6%削減 6897.0 kWh 3117.4 kg-CO2
1.-2 自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 二酸化炭素排出係数: 2.31kg-CO2/L	1800.2L 4478.5kg-CO2	2%削減 1764.2 L 4075.3 kg-CO2	3%削減 1746.2 L 4033.7 kg-CO2	4%削減 1728.2 L 3992.1 kg-CO2	5%削減 1710.2 L 3950.6 kg-CO2	6%削減 1692.2 L 3909.0 kg-CO2
2. 事業系一般廃棄物排出量の削減	2022年(実績) 122.8kg	1%削減 121.6 kg	2%削減 120.3 kg	3%削減 119.0 kg	4%削減 117.8 kg	5%削減 116.6 kg
3. 水使用量の削減	46.2m ³	1%削減 45.7m ³	2%削減 45.3m ³	3%削減 44.8m ³	4%削減 44.4m ³	5%削減 43.9m ³
4. 製品の品質確保	手順書作成による 作業平準化 1製品	手順書作成による 作業平準化 1製品	手順書作成による 作業平準化 1製品	手順書作成による 作業平準化 1製品	手順書作成による 作業平準化 1製品	手順書作成による 作業平準化 1製品

注:

- 1) 購入電力の二酸化炭素排出係数: 東京電力エナジーパートナー(株) R3年度実績 調整後排出係数0.452
- 2) 化学物質についてはごく微量な使用のため、目標項目から削除します。

5. 環境経営計画

2023年度 環境経営計画・実施状況評価

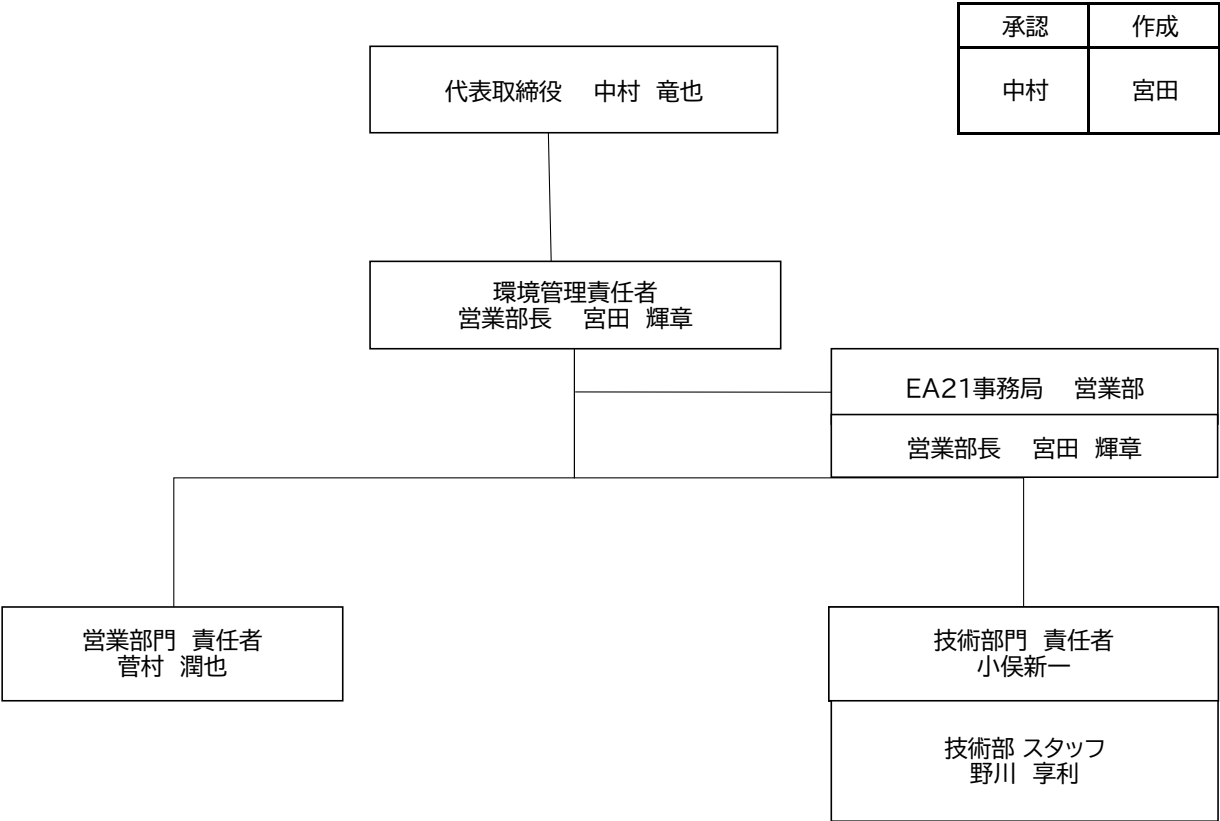
承認	作成
2024/5/10	2024/5/9
中村	宮田

評価 ○:達成 ×:未達 □:計画 ■:実施

NO.	項目	運用期間 目標 (2023年度)	達成手段	責任者	2023年												2024年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1.	二酸化炭素排出量の削減	2%削減(→98%) 7475kg-CO2 ↓ 7325kg-CO2	・電力使用量の削減	宮田	※1-1項参照														
			・化石燃料使用量の削減		※1-2項参照														
			・従業員の環境・省エネ意識向上		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
			計画CO2排出量(4半期毎)		1832												1831		
			実績CO2排出量(月次)		514.9	447.3	552.6	642.4	448.7	513.5	611.3	573.6	496.8	423.2	536.9	518.2			
			同 累計(月次)		514.92	962.24	1514.79	642.42	1091.08	1604.6	611.32	1184.88	1681.68	423.2	960.08	1478.31			
			実績CO2排出量(4半期毎)		1514.79												1604.6		
1-1.	電力使用量の削減	2%削減(→98%) 7337 kWh ↓ 7190kWh	・社内不使用時の消灯・電源OFF	宮田	○												○		
			・エアコン温度設定最適化		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			・作業効率の向上		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
			計画電力使用量(4半期毎)		1550												1750		
			実績電力使用量(月次)		535	387	443	730	752	628	681	615	494	520	711	668			
			同 累計(月次)		535	922	1365	730	1482	2110	681	1296	1790	520	1231	1899			
			実績電力使用量(4半期毎)		1365												2110		
1-2.	自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	2%削減(→98%) 1800.2L ↓ 1764L	・エコドライブの徹底	宮田	○												○		
			・公共機関利用(コロナ考慮し推進)		■	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	■			
			・夏季以外のカーエアコンの抑制		■	■	■	□			■	■							
			計画燃料使用量(4半期毎)		441												441		
			実績燃料使用量(月次)		116.6	116.6	150.9	133.1	45.24	97.64	129.4	126.1	116.8	80	91.37	91.78			
			同 累計(月次)		116.56	233.12	384.02	133.11	178.35	275.99	129.36	255.42	372.23	80	171.37	263.15			
			実績燃料使用量(4半期毎)		384.02												275.99		
2.	事業系一般廃棄物排出量の削減	1%削減(→99%) 122.8kg ↓ 121.6kg	・一般廃棄物の測定実施	宮田	○												○		
			・裏紙使用の徹底		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・ゴミの分別実施		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			計画廃棄物排出量(4半期毎)		30.4												30.4		
			実績排出量(月次)		11.61	4.25	10.56	15.8	9.2	10.88	6.68	8.75	25.54	7.41	11.25	8.89			
			同 累計(月次)		11.61	15.86	26.42	15.8	25	35.88	6.68	15.43	40.97	7.41	18.66	27.55			
			実績廃棄物排出量(4半期毎)		26.42												35.88		
3.	水使用量の削減	1%削減(→99%) 46.2㎡ ↓ 45.7㎡	・従業員の節水周知徹底	宮田	○												○		
			・社内各所に節水徹底を明示		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			計画水使用量(4半期毎)		11.4												11.4		
			実績水使用量(月次)		3.6	3.6	3.8	3.4	3.5	4.1	3.2	4	4.2	3.4	4	3.7			
			同 累計(月次)		3.6	7.2	11	3.4	6.9	11	3.2	7.2	11.4	3.4	7.4	11.1			
			実績水使用量(4半期毎)		11												11		
			評価		○												○		
4	製品の品質確保	手順書作成による 作業平準化 1製品	・製作手順把握	宮田	□	■	□	□	■	□	□	■	□	□	■	□			
			・作業手順書作成		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□				
			・製品部品表の整理		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■				
			評価		○												○		
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評価・確認結果、コメント、是正処置等															
1	2024年5月1日	宮田	定期	・電力使用量については、構成員一人ひとりに削減への意識が定着してきたことにより、目標以上の削減が実現した。 ・ガソリンの消費は、レンタルカーの使用が大幅に減じたため達成できた。 ・作業手順書の作成については、手順書と並行して部品表の整理を進め作業の全体的な効率効果を更に上げる体制作りを 実施しているが、手順書の作成までには届かず次年度にその効果を確認して作成に到達させる。															

6. 環境活動実施体制

作成 2024年4月1日



	役割・責任・権限
代表者	1. 経営における課題とチャンス の明確化 2. 環境管理責任者の任命 3. 環境方針の制定 4. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する 5. 環境経営システムの定期的見直しの実施 6. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
EA21事務局	1. 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境方針を理解し、部門の環境活動計画に従って活動する。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

2023年度 環境経営活動評価書

承認	作成
2024/5/10 中村	2024/5/9 宮田

NO.	推進項目	年度目標	結果確認	評価	達成の要因 /未達成の原因	未達成場合は是正措置・予防処置
1	二酸化炭素排出量の削減	2%削減(98%) 7,474.8 ↓ 7325 kg-CO ₂	6,320.3 kg-CO ₂	○	達成要因 ・電力使用量使用量の削減に依る ガソリン使用量の大幅減少	
1-1	電力使用量の削減 (二酸化炭素排出量削減)	2%削減(99%) 7,337kWh ↓ 7190 kWh	7,164.0 kWh	○	達成要因 ・エアコン温度設定最適化及び社内不使用時の消灯など社内徹底、削減意識の浸透に依る。残業時間規定の徹底。	
1-2	車燃料の削減	2%削減(98%) 1800. 2L ↓ 1764. 2L	1295.4L	○	達成要因 ・営業車両のレンタル料の大幅減少 ・営業車のエコドライブ推進	
2	事業系一般廃棄物排出量の削減	1%削減(99%) 122.8kg ↓ 121.6Kg	130.82	×	未達成要因 ・旧書類・カタログの一斉処分を実施したため削減できなかった。	・部品購入の際に発生する梱包材の削減は 難しいが、可能な限り再利用の徹底を社内周知し、その再利用の方法について発展的に社内で議論する機会を増やす。
3	水使用量の削減	1%削減(98%) 46. 2m ³ ↓ 45. 7m ³	44.5 m ³	○	達成要因 ・節水の社内徹底 ※前年と数値変わらず。これ以上の節水は難しい面もある。	
4	製品の品質確保	手順書作成による 作業平準化 製品部品表整理 1製品	手順の把握に留まる	×	未達成要因 ・目的の社内周知不徹底 ・部品表の整備の開始 留まりで手順書作成に着手できなかった。	・標準化、共有化に馴染む業務を洗い出し、優先順位をつけて作業を実施する。部品表の整理が整い始めているので段階的に手順書作成をスムーズに実施できる様社内周知に努める。手順書の有効性を再度社内検討をし基準の方向転換についても議論する。

8. 次年度の環境経営目標

環境経営目標

承認	作成
2024/5/10	2024/5/9
中村	宮田

基準年度:2023年度

環境経営目標	基準	年度目標	中期目標			
	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
1. 二酸化炭素排出量の削減	総量 6320.3 kg-CO2	2%削減 6193.9 kg-CO ₂	3%削減 6130.7 kg-CO ₂	4%削減 6067.5 kg-CO ₂	5%削減 6004.0 kg-CO ₂	6%削減 5941.0 kg-CO ₂
1-1 電力使用量の削減 二酸化炭素排出係数: 0.452kg-CO2/kWh	7164.0kWh 3722.7kg-CO2	2%削減 7020.7 3173.4 kg-CO2	3%削減 6949 kWh 3140.9 kg-CO2	4%削減 6877 kWh 3108.6 kg-CO2	5%削減 6806 kWh 3076.2 kg-CO2	6%削減 6734 kWh 3043.8 kg-CO2
1-2 自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 二酸化炭素排出係数: 2.31kg-CO2/L	1295.4L 4478.5kg-CO2	2%削減 1269.5 L 2932.5 kg-CO2	3%削減 1256.5 L 2902.5 kg-CO2	4%削減 1243.5 L 2872.5 kg-CO2	5%削減 1230.6 L 2842.7 kg-CO2	6%削減 1217.6 L 2812.7 kg-CO2
2. 事業系一般廃棄物排出量の削減	2023年(実績) 130.82. kg	2%削減 128.2 kg	3%削減 126.9 kg	4%削減 125.6 kg	5%削減 124.3 kg	6%削減 130.0 kg
3. 水使用量の削減	44.4m3	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理	維持管理
4. 製品の品質確保*	基準変更を実施	製品の部品表・設計図面の整理 1製品	製品の部品表・設計図面の整理 1製品	製品の部品表・設計図面の整理 1製品	製品の部品表・設計図面の整理 1製品	製品の部品表・設計図面の整理 1製品

注：4. 製品の品質確保* 基準「手順書作成による作業平準化」を「製品の部品表・設計図面の整理」に変更する。

- 1) 購入電力の二酸化炭素排出係数：東京電力エナジーパートナー(株) R3年度実績 調整後排出係数0.452
- 2) 化学物質についてはごく微量な使用のため、目標項目から削除

9. 次年度の環境経営計画

2024年度 環境経営計画・実施状況評価

承認	作成
2024/3/31	2024/3/31
中村	宮田

基準年度:2023年度			評価　○:達成　×:未達　□:計画　■:実施		(実績値、随時入力)														
NO.	項目	目標 (2023年度(4月-3月))	達成手段	責任者	2024年												2025年		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	二酸化炭素排出量の削減	2%削減(→98%) 6320kg-CO2 ↓ 6193.9kg-CO2	・電力使用量の削減	宮田	※1-1項参照														
			・化石燃料使用量の削減		※1-2項参照														
			・従業員の環境・省エネ意識向上		■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□			
			計画CO2排出量(4半期毎)																
			実績CO2排出量(月次)																
			同　累計(月次)																
			実績CO2排出量(4半期毎)																
1-1.	電力使用量の削減	2%削減(→98%) 7164.0kWh ↓ 7020.7kWh	・社内不使用時の消灯・電源OFF	宮田	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□		
			・エアコン温度設定最適化					□	□	□				□	□	□			
			・作業効率の向上		■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□			
			計画電力使用量(4半期毎)																
			実績電力使用量(月次)																
			同　累計(月次)																
			実績電力使用量(4半期毎)																
1-2.	自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	2%削減(→98%) 1295.4L ↓ 1269.5L	・エコドライブの徹底	宮田	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□			
			・公共機関の積極利用		■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□				
			・カーエアコンの抑制					□	□	□	□	□	□	□	□				
			計画燃料使用量(4半期毎)																
			実績燃料使用量(月次)																
			同　累計(月次)																
			実績燃料使用量(4半期毎)																
2	事業系一般廃棄物排出量の削減	2%削減(→98%) 129.8kg ↓ 127.2kg	・一般廃棄物の測定実施	宮田	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□			
			・裏紙使用の徹底		■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□				
			・ゴミの分別実施		■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□				
			計画廃棄物排出量(4半期毎)																
			実績排出量(月次)																
			同　累計(月次)																
			実績廃棄物排出量(4半期毎)																
3	水使用量の削減	維持管理 (44.5㎡)	・従業員の節水周知徹底	宮田	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□			
			・社内各所に節水徹底を明示		■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□				
			計画水使用量(4半期毎)																
			実績水使用量(月次)																
			同　累計(月次)																
			実績水使用量(4半期毎)																
4	製品の品質確保	製品の部品表・ 設計図面の整理 集約 1製品	・最新の部品表と設計図面の確認	宮田	□	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□			
			・部品表と設計図面を1SETとし 集約・見える化		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□				
				評価															
NO.	評価・確認 月日	評価・確認者	評価・確認事項(定期、臨時)	評 価 ・ 確 認 結 果 、 コ メ ン ト 、 是 正 処 置 等															
				前半期の後半3カ月(7月～9月)の期間内で、目標の有効性を社内で議論し基準の変更についての検討をする。															

10. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規などは次のとおりです。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ 等)
消防法(少量危険物)	アルコール(保管状況)

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。訴訟および関係当局からの違反等の指摘もありませんでした。

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

配布先	代表者による全体の評価と見直し・指示 結果報告書	文書番号	
		—	承認
		代表者 取締役社長	中村
見直し対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日		
見直し実施月日	令和6年5月1日 (定期・臨時)		
出席者	中村社長、宮田部長		
提出資料名	①環境経営目標の達成状況 ②環境経営計画の実施及び運用結果 ③環境関連法規などの遵守状況 ④外部からの環境に関する苦情や要望 (地域住民・顧客・自治体・消費者や社会の要請等も含む) ⑤その他(法規制の動向の情報など)		
「課題とチャンス」 見直しの要否	見直し不要		
見直し結果	①環境経営方針の変更の必要性 (有り・無し) 期限： ②環境経営目標及び環境経営計画の変更の必要性 (有り・無し) 改善担当者： 期限： ③実施体制の変更の必要性： (有り・無し) 改善担当者： 期限：		
総括	①前回の指示への取組結果 電気使用量/自動車燃料使用量及びそれに伴う二酸化炭素排出量の削減については、本活動を通じて従業員に意識が浸透して目標達成となった。 ②今回の全体の評価として環境経営目標の見直しを実施する。 基準年を2022年から結果に沿った2023年実績に変更し、更なる活動の成果を得る為の目標設定とする。 同時に品質の確保の有効性を再検討し基準を変更する。 令和6年4月に技術部門の責任者である長谷川部長の退職に伴い、同部門の責任者を小俣技術員に、また営業部門の責任者を新加入の菅村に任命、新しい体制で次年度に臨む。		